

潮地さんと小泉さんが佳作に！

「第53回統計グラフ全国コンクール」がこのほど行われ、町の小学生による2作品が、栄えある佳作に選ばれました。
今回入賞したのは、潮地朝さん（善郷小2年）の「わたしの町のしょうかい」（県教育長賞）



潮地 朝さん
(善郷小2年)



「ぜんこくのしょうに入って、うれしいです。このグラフは、町のことをもっと知りたいとおもってつくりました。(町のことは) パソコンをつけてしらべました。とこやびようしつの数がおおくて、まとめるのがたいへんでした。わたしが気に入っているのは、えきのところ。グラフをつくったのはじめてだったけど、たのしかったです。」



小泉 友乃さん
(笑吹小1年)



「ぜんこくのしょうにはいってうれしいです。このグラフは、(かぞくのひとが) いちになんばあるのかな、とおもってつくりました。みんなにまんぼうけいをもってもらってしらべました。(あるいたかずでからだの大きさをかえたので) あまりあるかなかったお父さんの体が小さくて、かくのがたいへんでした。おばあちゃんうまくできました。グラフをつくったのはじめてだったけど、たのしかったです。」

受賞」と小泉友乃さん(笑吹小1年)の「いっばいあるこう」(県統計協会名譽会長賞)で、いずれも小学生らしい視点で、見やすくまとめられたグラフ作品となりました。
今回は、受賞したお二人に感想などを聞いてみました。

中学校駅伝県大会

矢吹中女子が見事、初優勝！



10月6日、西郷村を会場に行われた「福島県中学校体育大会駅伝競走大会」(男女各36チームが出場)で、矢吹中学校の女子チームが見事、初優勝を飾りました。
10月13日には県大会に出場したメンバーや学校関係者が役場を訪れ、初優勝の喜びを野崎町長に報告しました。また、出場が決定した11月の東

北大、12月の全国大会での抱負なども語り、野崎町長から激励を受けました。
なお、今大会タスキをつないだのは、次のメンバーです。(敬称略)

| | |
|----|-----------|
| 1区 | 小林 美穂(1年) |
| 2区 | 大杉 英恵(2年) |
| 3区 | 佐藤扶寿香(2年) |
| 4区 | 泉川 瑞季(1年) |
| 5区 | 鈴木 芳枝(3年) |

行政 まちの動き 情報

●さわやか町民会議 第5次町総合振興計画に 関する提言書を提出

「さわやか町民会議」の太田代表、志賀・長田両副代表、国島事務局長は10月4日に町役場を訪れ、野崎町長に「第



5次総合振興計画に関する提言書」を提出しました。
今年6月末に発足した同会議は、町との「協働」のまちづくりを進める町民組織で、より多くの意見を集約して町政へ反映させるための活動を行っています。

今回の提言書は、3ヶ月をかけて振興計画の素案に反映させる意見を取りまとめたもので、産業経済、教育文化、防災交通などの各分野ごとに、取り組むべき目標と具体策が盛り込まれています。

町では、この提言書を「町民のみなさんの生の声」として尊重し、「第5次矢吹町総合振興計画」に反映させるべく、策定作業を進めています。

町職員人事異動のお知らせ

次のとおり、職員の人事異動がありました。
なお、()内は旧所属役職と異動月日です。

- 生涯学習課技査 辺見悦子
(保健福祉課健康センター技査・10月12日付)
- 産業振興課主査 渡辺洋美
(出納室主査・10月1日付)

私のひと言

矢吹町21世紀ビジョン

矢吹町の将来像を描くため、現在「第五次総合振興計画」づくりを急ピッチで進めている。

町の最上位計画である本計画は、新たな変革の時代に対応すべく、向う10年間のビジョンを描き住民の皆様に提示するものである。

今回、住民の皆様に計画案の一部を紹介し、観略を理解して頂ければ幸いです。

まず、本計画のコンセプトについて説明したい。1つめは、多くの住民の意見が反映され、しかも、「協働」をキーワードに全くの手づくりによる計画であること。

2つめは、新事業計画が集中と選択によって決定され、より矢吹らしさ、矢吹の魅力を引き出す特徴的な計画が策定されることである。

計画の体系は、①基本構想②基本計画③実施計画に大別され、今回は、そのうち基本構想の特徴について説明したい。

基本構想は、6つの基本理念により成り立ち「人」「支え合い」「子ども」「仕事」「くらし」と、前記5つの基本理念の実現のための検証を含め「構想実現のために」の6つとした。

特筆すべきことは、今後のまちづくりで最も重要な「人」「子ども」の二つの理念を敢えて掲げさせて頂いたことである。

これらの基本理念をもとに、まちづくりの将来像を下記のキャッチフレーズに思いを込めた。

一みんなで支え創造する私のふるさと一
「さわやかな田園のまち やぶさ」
「みんな」とは、協働のまちづくりを基本に一人一人みんながまちづくりの主役であり、みんなが普遍的なまちを「支え合い」/光り輝き、活気ある、元気な町をみんなで「創り上げる」/水、緑の豊かな、みんなが大好きな「ふるさと」にて、潤いのある豊かな暮らしを実現する。と表現させて頂いた。成案づくりに残された時間は僅かであるが、キャッチフレーズに込めたまちづくり実現のため、精一杯努力して参りたい。



矢吹町長
野崎 吉郎